(財)財務会計基準機構会員 JASDAQ

平成22年1月5日

各 位

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 大野 利美知
(コード番号 2796)
問合せ先責任者 常務取締役事業本部長 村上 典夫
(TEL 03-3362-7130)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年5月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年6月1日～平成21年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,261	265	197	68	3,181.62
今回発表予想(B)	10,625	365	255	95	4,438.84
増減額(B-A)	363	99	57	26	
増減率(%)	3.5	37.5	28.9	39.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成21年5月期第2四半期)	9,683	152	91	44	2,102.05

平成22年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,200	627	493	206	9,669.38
今回発表予想(B)	23,052	692	535	223	9,757.17
増減額(B-A)	1,852	65	41	16	
増減率(%)	8.7	10.4	8.4	8.2	
(ご参考)前期実績(平成21年5月期)	20,007	539	407	222	10,396.63

修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、新型インフルエンザ流行の影響等により、処方せん単価・処方せん枚数ともに当初予定より高い水準で推移し、前回予想より売上高が増加する見通しであります。また、労務管理の強化と経費節減等の効果で営業利益・経常利益とも前回予想を上回る見通しであります。当期純利益につきましても、第2四半期までに折り込んでいた役員退職慰労金等の特別損失が第3四半期以降に繰り越しされたこと等により前回予想を大きく上回る見通しであります。これらにより、第2四半期連結累計期間の業績予想は売上高10,625百万円(前回予想比3.5%増)、営業利益365百万円(同37.5%増)、経常利益255百万円(同28.9%増)、当期純利益95百万円(同39.5%増)に修正いたします。

通期業績予想につきましては、連結子会社が3社増加することにより売上高・利益が増加いたします。第3四半期より株式会社三和調剤(平成21年9月11日付「業務・資本提携(第三者割当増資引受け)及びそれに伴う子会社の異動に関するお知らせ」ご参照)と株式会社ハイレンメディカル(平成21年9月30日付「株式会社ハイレンメディカル株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」ご参照)が、第4四半期より有限会社北町薬局(平成21年12月3日付「有限会社北町薬局の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」ご参照)が連結子会社として連結業績に寄与してまいります。また、平成22年5月に計画している本社移転(平成22年1月5日「本社移転に関するお知らせ」ご参照)に係る費用等も加味して、売上高23,052百万円(前回予想比8.7%増)、営業利益692百万円(同10.4%増)、経常利益535百万円(同8.4%増)、当期純利益223百万円(同8.2%増)に修正いたします。

以 上